

平成30年度 第1回宝塚市自立支援協議会 全体会 議事概要

日 時：平成30年11月13日（火） 13：30～16：00

場 所：宝塚市役所 3階 大会議室

出席者：26名（全体会委員）

議題

第1部『各専門部会経過報告』（※詳細は各部会の活動経過報告書を参照のこと）

（1）しごと部会 報告者：部会長

・第6回宝塚市福祉事業所合同説明会について

9月29日（土）アピアホールにて第6回宝塚市福祉事業所合同説明会を開催した。悪天候の中での実施となったが、例年並みの100人程の来場者を数えた。宝塚市の社会資源を知る目的で、当事者やその家族のみならず様々な職種の方が来場し、回を追うごとにイベントそのものの周知が進みつつあることが伺える。

・第6回障がい者雇用啓発セミナーについて

下半期のイベントとして、今年度も雇用啓発セミナーを開催する。

2月7日（木）に宝塚市西公民館にて開催予定。精神障害および発達障害の当事者を多数雇用し、就労定着のために独自の労務管理システムを開発した大阪府内の企業から講師を招く。

・宝塚市における共同受注窓口について

平成30年4月1日より、宝塚市共同受注窓口「グッドジョブ」の名称で法人化が成された。11月には総合福祉センターにて設立総会を行う。

・今年度の協議テーマについて

今年度は昨年度までのテーマ「合理的配慮」について、各委員が自らの所属機関に持ち帰った結果を部会で順に発表していくという「合理的配慮についてのフィードバック」を行っていく。初回は副部会長の所属するNPO法人からの発表を行った。

（2）けんり・くらし部会（地域生活Gr） 報告者：部会長

・ワーキング「精神保健医療福祉連携推進会議」について

主に精神科病院からの退院を考えている人に向けた、宝塚市の社会資源紹介冊子を作るための活動を行っている。当初は相談先や医療機関、就労に関する情報をまとめたものとする方向であったが、専門用語が並びがちな冊子よりも、見た人

の「地域で生活したい」という気持ちを盛り立てる内容とした方がいいのではないかと議論があり、当事者のリカバリーストーリー等を取り入れた読み物風の冊子の作成へと舵を切りつつある。

- ・専門部会での協議テーマについて

前年度までのテーマであった「知的障害者の高齢化」と「身体障害者の医療的ケア」について、課題の積み上げはなされていても、今後の議論の持っていき方について再検討が必要な時期に差し掛かっている。昨年度に作成した高齢化についての課題分析シートの有効活用等、再整理を行った上でこれからの方向性を定めていく。

(3) けんり・くらし部会（地域移行Gr） 報告者：副部会長

昨年度に引き続き、精神科病院に長期に渡って任意入院している人の地域移行をテーマとして協議を行っている。これまでは精神科病院からの退院は、どのような形態であっても地域移行であるという風に捉えていたが、今後病院等からゲストスピーカーを招いた際に、言葉の認識に齟齬が出てしまうのではないかと、という点を鑑み、今年度からは制度としての「地域移行支援事業」を地域移行として考える、という方向へ整理を行った。その上で、部会の委員でもある精神科病院の職員に、病院が考える地域移行に関する課題の聞き取りや、市障害福祉課職員（精神保健福祉士）から地域移行支援についての制度説明、地域移行に積極的に取り組む他市の相談支援事業所をゲストスピーカーとして招いてのヒアリングを行った。また、地域の相談支援事業所と精神科病院が「顔の見える関係」となるべく、部会とは別に交流の機会を設ける予定である。

(4) こども部会 報告者：部会長

- ・たからっ子ノートについて

たからっ子ノートに関して、かねてより「書き方や使い方が分かりにくい」という意見があったため、更なる普及と活用促進に向け、昨年度よりノートの活用ガイドブックの作成を行っている。ノートの受け取り方から始まり、ライフステージ毎の記入先フローチャート等をまとめたものになる予定。今年度中には完成させ、運用を始める。また、市HPで公開しているエクセル版たからっ子ノートも使いやすいよう改良を進めている。

- ・きょうだい児支援について

きょうだい児への支援に関し、今年度はこども部会主催にて講演会を行うことが決定した。平成31年1月18日（金）宝塚市中央公民館にて開催する。

講師はきょうだい児への支援活動を行うNPO法人の代表者を招く。

・放課後等デイサービスについて

部会での議論の中で、学校の先生は生徒が利用している放課後等デイサービスを始めとする福祉サービスの事業所について把握していない場合があるとの意見が挙げられた。教育と福祉の現場で情報を共有する手段を構築できないか、ツールの作成も含めて今後協議していく。

2 第2部『講演』

「障がいのある子どもの育ちへの支援について」

講師：関西学院大学 人間福祉学部

教授 井出 浩 氏

3 その他（連絡事項）

市民福祉金廃止に伴う代替施策について 報告者：宝塚市健康福祉部長

① 30年度の取り組み

・多機能施設の整備

→30年度中に施設の概要案を示す段階まで持っていく。

・委託相談支援事業所の拡充（3か所から5か所へ）

・障害者就労・生活支援センターの整備（相談員の増員）

・グループホームの整備（スプリンクラーの設置にかかる補助等）

② 31年度以降の取り組み予定

今年度までの取り組みに加え、共同受注窓口の運営補助を新たな積立金の使途として予定している。

補助犬シールについて 報告者：宝塚市健康福祉部長

今年度より、市公用車に補助犬シールの貼付を行い、更なる普及・啓発に務めている。全体会委員にもそれぞれシールを配布するので、各所属機関においても普及に協力されたい。

文化施設の整備について 報告者：宝塚市産業文化部長

宝塚ガーデンフィールズの跡地に、「宝塚市立文化芸術センター」「宝塚文化芸術センター庭園」の整備を進めており、2020年春に開設予定である。